

2008年 URC投票一覧

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取 下げ、待機)
第 I 章 感染症及び寄生虫症 (A00-B99)								
	1336	Diarrhea due to clostridium difficile クロストリジウム・ディフィシルによる下痢	1 章	None	索引の修正(コード変更)93頁、446頁、317頁 索引の「クロストリジウム・ディフィシル」に関する項の修正	○	○	○
	1224	Prion diseases プリオン病	A81	None		△	×	論議継続中
	1225	Poxviruses ポックスウイルス	B08	None		△	×	論議継続中
	1261	B83.0 Visceral larva migrans, adding manifestation B83.0内臓幼虫移行症に症状発現を加える	B83.0	H45.1	内臓幼虫移行症に起因する眼内損傷は主要合併症であるため、内臓幼虫移行症(B830)のコードに眼内炎(H451)を追記することを提案する。(第2巻P74及び第3巻P118)	△	×	×
	1358	Abscess of liver and spleen 肝臓及び脾臓の膿瘍	A06	None	アメーバ性肝膿瘍A064に剣星K770追加アメーバ性脾膿瘍A068に剣星D77追加骨膿瘍M868→M869に訂正	△	△	○
	1360	Scrofulous tuberculous abscess 腺病の結核性膿瘍	A18	None	索引の修正 There is an issue with the index entries. 腺病性くるいれき性>(結核性)のコードは何か? フランスの索引では、A18. 4になっているが… どちらが正しいのか? 索引 P568, P572 膿瘍(塞栓症)(感染(性))(転移(性))(多発(性))(化膿性)(敗血症性) L02. 9 -腺病性くるいれき性>(結核性) A18. 2 ⇒ A18. 4 (リンパ管) (皮膚)	△	×	×
	1365	Gastrointestinal anthrax 胃腸管炭疽	A22	None	索引の修正 Add asterisk codes at subterms for Anthrax in ICD10-CA to match CIM10(see lead term Charbon). 星印の追加。フランスの†、*コードを付ける。 索引 P489 炭疽 A22. 9 -脳<大脳>(性) A22. 8 ⇒ A22. 8† G01* -胃腸 A22. 2 ⇒ A22. 2† K93. 8* -吸入<引> A22. 1 ⇒ A22. 1† J17. 0* -肺 A22. 1 ⇒ A22. 1† J17. 0* -呼吸(器)(性) A22. 1 ⇒ A22. 1† J17. 0*	○	○	○
	1366	Amoebic appendicitis アメーバ性虫垂炎	A06	None	索引の修正 星印の追加。フランスの†、*コードを付ける。 索引 P499 虫垂炎 K37 -アメーバ性 A60. 8 ⇒ A60. 8† K93. 8*	△	×	×

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告・否決・却下・持越し)
	1374	Chagas disease with nervous system involvement 神経合併症のあるシャガス病	B57	None	索引の精度向上のため(既存の索引には用語の重複が見られる)索引のシャガス<Chagas><病><慢性> --神経系障害B57.4†G99.8* のように星印コードの追加	△	△	○
	1375	Coccidioidomycosis コクシジオイデス症	B38	None	索引の精度向上のため(既存の索引には用語の重複が見られる)索引のコクシジオイデス症 B38.9 -肺B38.2†J99.8*→J17.2* --急性B38.0†J99.8*→J17.2* --慢性B38.1†J99.8*→J17.2* パラコクシジオイデス症 B41.9 -肺B41.0†J99.8*→J17.2* のように星印コードの変更	△	△	○
	1393	Remittent fever 間欠熱	B54	None		○	○	○
	1395	Tuberculous bronchocutaneous fistula, hemothorax, pyothorax and tracheitis 結核にかかった気管支のろう、血胸症、膿胸と気管支炎	A15	None	結核性の気管支炎等について、索引「ろう(孔)」「胸膜」「血胸」「膿胸」「気管支炎」での記述項目追加	○	○	○
	1396	Fitz Hugh and Curtis syndrome フィッツヒュー・カーチス症候群	A54	None		△	○	○
	1408	Human metapneumovirus ヒトメタニューモウイルス属	B97	J12 J21	このウイルスによる疾患を明確化 新規コードJ123(ウイルス肺炎)・J211(急性細気管支炎)追加。B978に例示追加。索引追加	△	○	○
	1418	Pseudotuberculosis extra-intestinal infection 偽結核の腸管外感染	A27	None	偽結核菌の腸外感染はA282かA280か(仏CIMとの比較) 索引(95頁、パスツレラ、136頁偽結核症) 参照1484	○	△	○
	1425	Pulmonary mucormycosis 肺ムコール症	B46	None	星印(*)部分の変更	△	△	×
	1445	White pneumonia 白色肺炎	A50.0	None	肺炎 -白(色)(先天(性)) A50.0に† J17.0*を追加	○	△	○
	1446	Amebic proctitis アメーバ性直腸炎	A06	None	アメーバ性直腸炎はICD-10でA06.0となっているが、CIM-10ではA06.8となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	×	○
	1453	Congenital sarcocele 先天性精巣腫瘍	A50.5	None	辜丸瘤腫(良性) --先天 A50.5に† N51.1*を追加	○	○	○
	1457	Egyptian splenomegaly エジプト脾腫	B65.1	None	脾腫 -エジプトの B65.1に† D77*を追加	○	○	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票(第1回 6/30)	投票(第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取下げ、押越し)
	1460	Juvenile syphilis 若年性梅毒	A50.4	None	梅毒 -麻痺性認知症 --若年性 A50. 4に† F02. 8*を追加	△	×	×
	1468	Asterisk codes for ulcers 潰瘍に対してつける星印	A01.0	None	潰瘍 -アメーバ性 --皮膚A06. 7† L99. 8* -腸 --腸チフスA01. 0† K93. 8* -皮膚 --アメーバ性 A06. 7† L99. 8*を追加	△	×	×
	1476	Blastomycosis プラストミセス症	B40	None	星印(*)部分の変更	○	○	×
	1479	Diphtheritic paralysis ジフテリア性麻痺	A36.8	None	ジフテリア -神経学的合併症のコード(A36. 8)を削除し項及び剣印・星印を追加 --神経炎A36. 8† G59. 8* --麻痺A36. 8† G99. 8*	△	△	○
	1480	Woolsorter's disease 羊毛選別者病	A22.1	None	疾患 -羊毛選別者 A22. 1† J17. 0*を追加	△	○	○
	1483	Typhoid fever 腸チフス熱	A01.0	None	熱 -腸チフス性 --下記を伴うもの ---胃腸の穿孔A01. 0† K93. 8* ---腹膜炎A01. 0† K67. 8* ---肺疾患A01. 0† J17. 0*	△	×	○
	1484	Infections 感染症	A56	None	①剣・星印を追加 感染(索引P93) -クラミジア --腎尿路生殖器 A56. 2† N29. 1* ---明示されたもの NEC A56. 1† N29. 1* ②項を追加(偽結核症の腸外感染) 感染(索引P95) -バクテリウム A28. 0 --偽結核症 A28. 2 ---腸外感染 A28. 2 偽結核症 A28. 2 --腸外感染 A28. 2	△	△	○
	1240	Septic shock 敗血症性ショック	R57	A41.9 O08 T80.1 T81.1	内容例示(27. 757)修正、コード変更 「敗血症ショック」のコード変更。 そこにコードする。 今現在 A419にコードしているが、 R57. 2を新設して、	△	△	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、容決、取 下げ、特選し)
	1378	Diphtheritic croup ジフテリア性クループ	J05	A36	①ICD即ちJ05.0(急性閉塞性喉頭炎[クループ]及び喉頭炎)は正しいコードか。②ジフテリア性クループをICD-10では喉頭部のジフテリア(A36.2)を選択し、とフランス版では咽頭部のジフテリア(A36.0)を選択する。いずれを選択するのが正しいか。③仮く偽性クループは、ICD10ではJ38.5(扁桃腺又はアデノイド腺のその他の慢性疾患)を示し、フランス版ではJ05.0を示すが、どちらが正しいか。以上から、目次の新規設置・削除又は修正等、コードの変更を提案する。(第3巻P40,P199)	△	△	○
第二章 新生物(C00-D48)								
	1199	Table of neoplasm - central nervous system 新生物の表-中枢神経系	2章	None	印刷ミス(用語落丁)	○	○	
	1230	Leukaemia and lymphoma 白血病及びリンパ腫	3章	C81-C96 D10-D36		△	○	○
	1235	Definition of primary malignant neoplasm 原発性悪性新生物の定義	4章	None	内容例示(81)修正 悪性新生物の定義について説明文の追加	△	△	腫瘍TA Gへ持ち 越し
	1339	Bednar tumor ベドナー腫瘍	C43-C44	None	索引の修正(659頁) ベドナー ーアフタ K120 ー腫(瘍)(M8833/3) 新生物、皮膚、悪性を見よ	○	○	○
	1348	Neoplasm of urethrovaginal and vesicovaginal septum 尿道腔及び膀胱腔中隔の新生物	D39.9	D39.7	索引の訂正 D399(女性器部位不明)→D397(その他女性器)に変更	○	○	○
	1349	Parasellar neoplasm 傍トルコ鞍の新生物	C72.9	D33.2	総論の変更 出血は抗血液凝固薬の中毒又は過量摂取の直接影響によるものであり、中毒または過量摂取の記載がなくとも抗血液凝固薬治療が直接影響を及ぼすとは見做さない。胃出血についても、ステロイド、アスピリン及び非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)の明白な結果である。従って、罹患率と死亡データ収集の完全性に影響を与えないルールとガイドラインの変更を提案する。(第1巻(P60)ルール3)	○	△	○
	1394	Uterine fibromyoma 子宮線維筋腫	D25	None	子宮線維筋腫について一貫性のある索引コードの提案。索引「筋線維腫」にコードの記載がないので追加して統一を図る。	△	△	○
	1397	Malignant fracture 悪性骨折	C80	None	索引(223)に追加 骨折 ー病的 ――新生物性疾患 D489 ――悪性(M8000/3)(悪性腫瘍も参照)C80. ー†M907	△	△	×
	1423	Macroglobulinemia マクログロブリン血症	C88	None	現在括弧書きになっているものを削除し、項を追加する。 単クローン性をD47. 2にコードする。	△	△	×
	1252	IHD and sigmoid carcinoma 虚血性心疾患及びS結腸癌	I20-I25	C18	索引の訂正 傍トルコ鞍は脳部位としてC729--C719等に変更	△	△	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、再議し)
○	1322	Keratocyst 角化嚢胞	K09.0	D16	角化のう胞はWHOの最新腫瘍分類では「角化のう胞性歯原性腫瘍」分類されているのでK090からD16へ移動する提案。さらに、内容によってD165「石灰化上皮性」とD164「上顎骨」に分ける)提案	○	○	○
	1350	Polycythemia 赤血球増加症	D75.1	D45	D45(真正赤血球増加症)を性状コード1→3のものに訂正 D751(続発性赤血球増加症)R71(赤血球異常)の記載追加訂正。赤血球増加症NOSをD751とする 索引追加訂正	△	△	○
第三章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)								
	1138	Transient leukemia 一過性白血病	D72.8	None	内容例示のD728に追加記載する。 索引に一一過性D72.8を追加記載する。	△	△	×
	1350	Polycythemia 赤血球増加症	D75.1	D45	D45(真正赤血球増加症)を性状コード1→3のものに訂正 D751(続発性赤血球増加症)R71(赤血球異常)の記載追加訂正。赤血球増加症NOSをD751とする 索引追加訂正	△	△	○
	1380	Werner-Schultz disease ウェルナー・シュルツ病	D70	None	1.無顆粒球症は、白血球や好中球・顆粒球の過度の減少に起因するあらゆる状態をいう。2.具体的には喉や他の粘膜・消化管・皮膚の損傷など(兆候)が特徴であるが、殆ど場合は骨髓に影響を及ぼしており、顆粒球を抑制する薬剤や化学薬品、放射線による過剰反応である。無顆粒球症性又は好中球減少性アネキア、悪性又は有害性白血球減少症、シュルツアネキア、シュルツ症候群とも呼ばれる。以上から、第2巻P157「無顆粒球症」(D70)の「包含:」に「ウェルナーシュルツ病D70.8」を追記し、第3巻P42に「ウェルナーシュルツ病(D70.8)」、「単純性シュルツ型I73.8」、「シュルツ病又は症候群D70」を記載することを提案する。	△	○	○
	1382	Immune reconstitution syndrome 免疫再形成症候群	D89	None	HIV薬剤治療において自ら修復可能な免疫系の存在を認めた。体内の免疫系がHIVでダメージを受けているときは、治癒に必要な諸炎症(熱のない赤み、腫れ等)はなく、免疫システムが回復すると復帰する。免疫再形成によく見られる感染症として、PCP肺炎、ヘルペス、CMV感染症、MAC感染症結核が掲げられる。免疫再形成のプロセスは重要で取り上げられるべきである。適応するコードがないため、「免疫性再形成症候群」(D89.3)を新規に追加し、仮に薬剤を確認するときは、外因コードを更に追加することを提案する。(第2巻P165及び第3巻P711)	△	○	○
	1403	Paroxysmal hemoglobinuria 発作性血色素尿症	D59	None	索引項目の修正(655頁)コード変更、項目の変更及び追加 ヘモグロビン尿症 一寒冷凝集素(病)(凝集素)(発作性)(レイノー<Raynaud>症候群を伴うもの)D596D591 一一発作性(レイノー症候群を伴うもの)D596	○	○	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1421	Jaundice due to hereditary hemolytic anemia 遺伝性溶血性貧血による黄疸	D58	None	現在のコード(P58. 8)をD58. 9に記載変更 CIM-10とICD-10との違い	△	△	○
第IV章 内分泌、栄養及び代謝疾患(E00-E90)								
	1160	Dysfunction of hypophysis 脳下垂体の機能障害	E23.3	E23.6	索引(126)の修正(コード変更) 脳下垂体の機能異常は現在E23.3に割り当てられているがE23.3は視床下部機能障害他に分類されないものである。E23.6その他の下垂体障害の方がふさわしいのではないかと。	○	○	論議継続中
	1352	Tertiary hyperparathyroidism 三次性副甲状腺機能亢進症	E21.2	None	E212に記載追加。三次性～をE212とする 索引追加	○	○	○
	1388	Distal intestinal obstruction syndrome 遠位性腸管閉塞症候群	E84.1	None	E841のコードに包括用語「遠位性腸閉塞症候群」を追加する提案。内容例示「E841」への追加、及び索引「線症」「閉塞」への追加	△	○	○
	1411	Hurler (-Scheie) disease ハーラー(・シェイエ)病	E76.0	None	剣星G328を追加	○	△	×
	1429	Toxic thyroid nodule 中毒性甲状腺結節	E05	None	「甲状腺中毒症または甲状腺機能亢進を伴うもの」に(単結節性)を追加し、コードをE05. 2→E05. 1に変更。 -多結節性 E05. 2を追加。	△	○	○
	1459	Adrenocortical syndrome with Cushing's syndrome クッシング症候群を伴う副腎皮質症候群	E27.0	None	症候群 -副腎皮質の後ろの「クッシング症候群を参照」を削除 --クッシング症候群に関連するものを追加	△	△	○
第V章 精神及び行動の障害(F00-F99)								
	1333	Change in the terminology from dyspepsia to functional dyspepsia ディスペプシアという用語を機能性ディスペプシアに変更	K30	F45.3	内容例示(462頁)及び索引の病名「ディスペプシア」を「機能性ディスペプシア」に修正 「ディスペプシア」をR101にコード変更	○	○	論議継続中
	1383	Psychogenic depression 心因性うつ病	F32	None	索引(44)修正、コード変更 心因性うつ病について、ICDとCIMのコードの付け方の違い。どちらにするのか?	×	×	×
	1385	Depressive bipolar affective disorder 抑うつ性双極性感情障害	F33	None	索引項目の追加・修正	△	×	×
	1386	Alcohol and drug induced psychotic disorder アルコール及び薬物誘発性精神障害	F10	F19	索引項目の追加・修正	△	○	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票(第1回 6/30)	投票(第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取下げ、待越し)
	1387	Organic erectile dysfunction 器質性勃起不全	N48.4	F52.2	索引項目の追加(器質性と心因性を分けてコードできるように)	△	○	○
	1391	Postoperative delirium 術後せん妄	F05	None	F05のコードに包括用語「術後」を追加する提案。内容例示「F05」への追加、及び索引「せん妄(-術後 F05 9)」への追加	△	△	○
	1392	Further revisions to acute drunkenness in alcoholism アルコール中毒における急性酩酊の更なる改訂	F10.0	None	内容例示(220頁)、索引()修正 「アルコール中毒」について、内容例示「急性中毒」への修正、及び索引「アルコール(性)」の依存(症)を急性中毒からはずし、アルコールの直下に移動、「アルコール依存(症)」と引けるようにする提案	○	○	○
	1412	Psychogenic hyperemesis 心因性悪阻	F50.5	None	索引追加訂正 妊娠による心因性悪阻(嘔吐)をF505 心因性嘔吐をF505→F453Iに変更	△	×	×
第VI章 神経系の疾患(G00-G99)								
	1116	Post-polio syndrome ポストポリオ症候群	G10-G13	None		○	○	○
	1255	Alzheimer an acceptable cause of G21.9 G21.9の原因として許容できるアルツハイマー	G30	G21.9		△	△	○
	1257	Calculus of kidney obvious consequence of multiple sclerosis 多発性硬化症の明らかな結果である腎結石	N20	G35		△	△	○
	1343	Lambert-Eaton syndrome ランバート・イートン症候群	6章	None	内容例示(320頁)「新生物も参照」、索引の該当箇所(21頁他)修正	△	○	○
	1390	Epilepsy and recurrent seizure disorder てんかん及び再発性発作障害	G40	None	内容例示(306~308)修正 G40とG41について現在の医学水準に合わせて記述の追加の提案。内容例示「G40」「G41」の記述追加。「G413」「G414」コードの新規追加。索引「痙攣」「障害」「てんかん」「発作」について変更、追加、削除。	△	△	論議継続中
	1409	Frontotemporal dementia 前側頭の痴呆	G31.0	None	G310(限局性脳萎縮)に例示追加 索引追加	○	○	○
	1424	Pneumococcal meningoencephalitis 肺炎球菌性髄膜炎	G04.9	G00.1	膿髄膜炎 =肺炎球菌(性)G00.1を追加 また、CIM-10ではG04.2となっているがG00.1の方が適当か。	○	○	○
	1428	Sciatic neuritis 坐骨神経炎	G57.0	M54.3	坐骨神経痛性神経炎はICD-10でM54.3となっているが、CIM-10ではG57.0となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	△	○
	1478	Deglutition paralysis えん<嚥>下麻痺	R13	G52.1	えん<嚥>下麻痺はICD-10でR13となっているが、CIM-10ではG52.1となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	×	×

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告・否決・取 下げ・特選)
第七章 眼及び付属器の疾患(H00-H59)								
	1261	B83.0 Visceral larva migrans, adding manifestation B83.0内臓幼虫移行症に症状発現を加える	B83.0	H45.1	内臓幼虫移行症に起因する眼内損傷は主要合併症であるため、内臓幼虫移行症(B830)のコードに眼内炎(H451)を追記することを提案する。(第2巻P74及び第3巻P118)	△	×	×
	1341	Conjunctival intraepithelial neoplasia 結膜性上皮内新生物	7章	None	新コードの追加 内容例示(332頁)H111に「除外:結膜本来の位置での癌(D092)」を追加し、H115、H116、H117のコードを追加する。内容例示及び索引を修正する。	×	×	眼科TAGへ持ち越し
	1400	Postprocedural disorders of eye 眼の術後障害	H59	None	索引(629頁、他)に追加 眼の術後の疾患H59. 8Iにして追加	○	○	○
	1402	Day blindness 昼盲	H53	None	索引の修正(498頁) 昼盲<失明>H53+H536 -昼盲H531	×	×	×
	1458	Bitot's spots ビトー点	H11.1	None	点または斑 -ビトー H11. 1に† H13. 8*を追加	△	△	○
第八章 耳及び乳様突起の疾患(H60-H95)								
第九章 循環器系の疾患(I00-I99)								
	1154	Pulmonary arteriosclerosis 肺動脈硬化(症)	I27.0	I28.8		△	-	×
	1248	Rule A inclusion of I46.1 I46.1を含むルールA	I46.1	総論 (4-1)	ルール変更 ルールAの不明確な診断名の中に心臓性突然死(I46. 1)を追加する	△	△	○
	1252	IHD and sigmoid carcinoma 虚血性心疾患及びS字結腸癌	I20-I25	C18		△	△	○
	1256	Causality between chronic obstructive lung disease and heart failure 慢性閉塞性肺疾患と心不全の因果関係	I50	J44		△	△	○
	1364	Congenital aneurysm 先天性動脈瘤	I60	None	索引の修正 The issue is with the codes in the index. I607とI609のどちらが正しいの? 索引 P524, P525 動脈瘤 -脳 I67. 1 --先天(性) Q28. 3 ---破裂性 I60. 7 -先天(性)(末梢(性)) Q27. 8 --脳 Q28. 3 ---破裂性(出血、くも膜下も参照) I60. 9 -meninges (cerebral) (spinal) G96. 1 --congenital Q07. 8	△	○	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取下げ、特種し)
	1367	Arteriosclerosis of the carotid artery 頸動脈の動脈硬化症	I65.2	None	索引の修正 Add index subterm. (追加) 索引 P523 動脈硬化(症)＜アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(びまん性)＞ I70. 9 一頸動脈(総)(内) I67. 2 ⇒ I65. 2	△	△	○
	1384	Functional cardiac disorder 機能性心臓障害	I51	None	索引のコード修正 心(臓)機能障害 I518→I519	△	△	×
	1404	Hypertensive renal disease 高血圧性腎疾患	I12	None	内容例示の修正(372頁) I12の「包含」部分の記載修正5行目 高血圧のためI10の何れかの状態を有するN00-N07、N18、N19またはN26における全ての状態	△	×	×
	1405	Atherosclerosis with gangrene 壊疽を伴うアテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症)	I70	None	四肢のアテローム硬化を壊疽有無でコードを分ける 新規コードI703追加。I702の記載変更。I739の除外追加。索引追加訂正	△	△	○
	1406	Postthrombotic syndrome 血栓後症候群	I87	None	I870静脈炎後症候群→血栓後症候群に疾患名変更?	△	△	○
	1415	Current complications following acute myocardial infarction 急性心筋梗塞に伴う現在の合併症	I20-I25	None	内容例示(373頁)の「注」書きの修正 「虚血性心疾患」の「注」を書き換える。 「疾病分類の場合、I21-I25で使用される期間は」→「I21、I22、I24及びI25で使用される期間は」に修正。 理由I21-I25にはI23が含まれるから(I23は梗塞につづいて起こるから)。	△	○	○
取り下げ	1416	Atherosclerotic gangrene アテローム硬化性壊疽	I70	None	内容例示(396頁)の例示の修正 ・I702をアテローム粥状硬化性壊疽にし、メンケベルグ硬化症をI703に独立させる。 ・I739に「除外」をあらたに記載する。 参照1405	—	—	×
	1433	Diffuse cerebrovascular occlusion びまん性脳血管閉塞	I66	None	びまん性脳血管閉塞はICD-10でI66. 9となっているが、CIM-10ではI67. 8となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	△	○
	1443	Phlegmasia alba dolens 有痛性白股腫	I80.0	None	CIM-10とICD-10の相違により、 有痛性白股腫(大腿血栓静脈炎)のコードをO87. 1→I80. 1に変更	○	○	○
第X章 呼吸器系の疾患(J00-J99)								
	1246	Cough variant asthma 咳喘息	J45.0	None	内容例示(430)索引(4445)修正 「咳喘息」という疾患名を内容例示・索引へ追加(コードJ450へ)	○	△	論議継続中

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (動議、否決、取 下げ、持越し)
	1250	Aspiration and pneumonia 誤嚥と肺炎	J69.0	None		△	△	○
	1253	Hypostatic pneumonia an obvious consequence of aspiration pneumonia 嚥下性肺炎の明らかな結果である沈下性肺炎	J18.2	J69.0		△	△	○
	1254	Emphysema due to metastatic liver tumour 転移性肝腫瘍による肺気腫	J43	None		△	△	○
	1256	Causality between chronic obstructive lung disease and heart failure 慢性閉塞性肺疾患と心不全の因果関係	I50	J44		△	△	○
	1262	Chronic pneumonia 慢性肺炎	J98.4	None	総論、索引の修正(コード変更、ルール変更)MRGは、「慢性肺炎」による死亡を「肺のその他の傷害」(J98.4)のコード化を奨励している。コード選定の補助として、目次に「慢性肺炎」の記載を提案する。(第1巻P60)	△	△	○
	1370	Refractory asthma 不応性喘息	J46	None	喘息、喘息性 -不応性 J46を追加	○	△	×
	1373	Capillary bronchitis 細気管支炎	J21	J18.0	索引の 気管支炎 -毛細血管(肺炎、気管支も参照)J18.0 ではなく、 (フランス版CIM-10) 気管支炎 -毛細血管J21.9 の方が正しいのではないか。	△	○	○
	1378	Diphtheritic croup ジフテリア性クループ	J05	A36	①ICD即ちJ05.0(急性閉塞性喉頭炎[クループ]及び喉頭炎)は正しいコードか。②ジフテリア性クループをICD-10では喉頭部のジフテリア(A36.2)を選択し、とフランス版では咽頭部のジフテリア(A36.0)を選択する。いずれを選択するのが正しいか。③仮く偽性クループは、ICD10ではJ38.5(扁桃腺又はアデノイド腺のその他の慢性疾患)を示し、フランス版ではJ05.0を示すが、どちらが正しいか。以上から、目次の新規設置・削除又は修正等、コードの変更を提案する。(第3巻P40,P199)	△	△	○
	1408	Human metapneumovirus ヒトメタニューモウイルス属	B97	J12 J21	このウイルスによる疾患を明確化 新規コードJ123(ウイルス肺炎)・J211(急性細気管支炎)追加。B978に例示追加。索引追加	△	○	○
	1413	Hypertrophy of nasal mucous membrane 鼻粘膜の肥大	J34	None	索引訂正 J343(鼻甲介の肥厚)→J348(鼻および副鼻腔その他障害)に変更	○	△	○
	1420	Amianthosis 石綿症	J61	None	線維症 -肺 --下記を伴うもの ---石綿<アスベスト>症の下に、 ---石綿症 J61を追加	○	○	○
	1444	Staphylococcal pneumonia ブドウ球菌性肺炎	J85-J86	None	胸膜炎(索引P150) -ブドウ球菌(性) J86. 9→J90に変更	△	△	○
	1456	Allergic sinusitis アレルギー性副鼻腔炎	J30	None	副鼻腔炎 J32. 9(索引P644) -アレルギー性 J30. 3→J30. 4に変更	△	○	○

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1481	Disease of the sinus 副鼻腔の疾患	J30-J39	None	副鼻腔炎はICD-10でJ32. 9となっているが、CIM-10ではJ34. 8となっている。J34. 8にコードされるべきか。	△	×	×
第X I 章 消化器系の疾患(K00-K93)								
	1340	Nonalcoholic steatohepatitis 非アルコール性脂肪性肝炎	1 1 章	None	内容例示(483頁)の修正及び索引の修正(ICD-11の作成のためとある) K758に「非アルコール性脂肪性肝炎」、K760には「非アルコール性脂肪性肝疾患」と「除外」を追加、索引の該当箇所を修正する。	○	○	○
	1223	Osteonecrosis of jaw due to bisphosphonates ビスフォスフォネートによる顎の骨えく壊死	K10.2	M87.1	内容例示(453)修正 コードK102のところへ除外文… 「薬物による顎骨えく壊死(M87.1)」の追加 コードM87.1のところへ包含文の追加	△	△	○
○	1321	Costen's complex or syndrome コステン徴候または症候群	K07.6	None	「コステン徴候または症候群」は疾患単位としては根拠がないのでK076に記載されている4つ疾病の中から削除する提案	○	○	×
○	1322	Keratocyst 角化嚢胞	K09.0	D16	角化のう胞はWHOの最新腫瘍分類では「角化のう胞性歯原性腫瘍」分類されているのでK090からD16へ移動する提案。さらに、内容によってD165「石灰化上皮性」とD164「上顎骨」に分ける提案	○	○	○
○	1323	Granular odontogenic cyst 腺性歯原性嚢胞	K09.0	None	WHOの最新腫瘍分類では「腺性歯原性嚢胞」が新たに加えられていることので、K090に加えるべき。	○	○	○
取り下げ	1325	Osteomyelitis (neonatal) 骨髄炎(新生児)	K10.2	None	K102骨髄炎から「(新生児)」を削除する提案	—	—	×
○	1329	Pulpitis 歯髄炎	K04.0	None	内容例示(447頁)と索引の修正(削除、追加)使用されない病名の為 K04の例示「歯髄膿瘍、歯髄ポリープ、化膿性歯髄炎」削除、「可逆性、不可逆性」合わせて索引該当部分の削除、追加	○	○	○
○	1330	Globulomaxillary cyst and median palatal cyst 球状上顎嚢胞と正中口蓋嚢胞	K09.1	None	内容例示の修正(452頁) 医学知識の変更を反映するための修正 K091例示の部位削除、修正と合わせて索引の該当箇所削除、修正	○	○	論議継続中
○	1333	Change in the terminology from dyspepsia to functional dyspepsia ディスペプシアという用語を機能性ディスペプシアに変更	K30	F45.3	内容例示(462頁)及び索引の病名「ディスペプシア」を「機能性ディスペプシア」に修正 「ディスペプシア」をR101にコード変更	○	○	論議継続中
○	1334	Microscopic (collagenous, lymphocytic) colitis 顕微鏡的(コラーゲン、リンパ球性)大腸炎	K52.8	None	内容例示(470頁)の例示の追加及び索引の追加 K528の例示に追加し索引の該当箇所にも追加する。 参照ID1344	○	○	○
○	1342	Cellulitis and absces of mouth 口腔の蜂窩織炎及び膿瘍	K12.2	None	内容例示(455頁)の修正及び索引の修正 K122を廃しK16を新規に作成、K122の内容をK160とK161に充実させる。	○	○	論議継続中

日本からの提案	ID	提案題名	第1に影響を受けるコード	第2に影響を受けるコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1344	Microscopic colitis 顕微鏡的大腸炎	K50-K52	None	内容例示(470頁)、索引の該当箇所修正(追加) K528 その他の明示された非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎の例示に下記追加。 膠原性結腸炎(ID1334には無し) リンパ球性結腸炎 顕微鏡的結腸炎 参照ID1334	○	○	1334と 統合され た
	1345	Hernia, expansion and update of codes ヘルニアの項目の拡張及びコードの改正	K40-K46	None	ヘルニアカテゴリの全体的な見直し。原発・続発の明確化や骨盤区域・腹腔内のカテゴリ化など 新規コード追加: K423・K424・K425・K453・K454・K455 新規カテゴリ追加: K47-・K48- カテゴリ削除: K46- 内容例示記載変更、追加 索引追加訂正	△	△	論議継続中
	1351	Progressive familial intrahepatic cholestasis 進行性家族性肝内胆汁うっ滞	K76.8	K83.1	K768に記載追加。家族性肝内胆汁うっ滞とバイラー氏病をK768とする 索引追加	○	○	×
	1422	Oral mucositis 口腔内粘膜炎	K12	None	抗腫瘍性の治療による口腔内粘膜炎は、誤ってD70にコードされていたため、新規コード、例示、除外を追加。	△	△	○
	1431	Obstructed intestine 腸閉塞	K56	None	腸閉塞はICD-10でK56. 6となっているが、CIM-10ではK56. 4となっている。K56. 6の方が適切なのか。	△	×	×
	1442	Chronic proliferative peritonitis 慢性増殖性腹膜炎	K65	None		△	△	×
	1477	Edema of Bauhin's valve ポーン弁の浮腫	K52	None	CIM-10で、ポーン弁の浮腫はK52. 8となっているが、ICD-10にはない。 ICD-10に追加されるべきなのか、またその場合、コードは適切か。	×	×	×
	1485	Periapical infection 歯根歯根尖周囲	K04	None	歯根尖周囲感染症はICD-10でK04. 5となっているが、CIM-10ではK04. 7となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	×	×
	1359	Vaginorectal abscess 腔直腸膿瘍	N76	K61.1	索引の修正 The following entries pose a problem. 腔直腸膿瘍のコードは何か？ フランスの索引では、K61. 1になっているが… 腔か直腸か？ <u>どちらが正しいのか？。</u> 索引 P568, P572 膿瘍(塞栓症)(感染(性))(転移(性))(多発(性))(化膿性)(敗血症性) L02. 9 - 腔(壁)(腔炎も参照) N76. 0 - 腔直腸(腔炎も参照) N76. 0 ⇒ K61. 1	△	△	○